

鈴鹿市立図書館サービス推進方針

内部評価結果

令和3年7月

文化スポーツ部図書館

第1 内部評価結果

- 1 評価対象期間：令和2年（2020年）4月から令和3年（2021年）3月まで
- 2 評価方法：中間年度の目標値を設定していないため、当初の現状値と最終目標値から、令和2年度（2020年度）の結果を比較することとし、3ページ以降には各取組の状況を記載した。
- 3 総評 新型コロナ感染症拡大防止策として、休館・入館制限・施設の利用制限を行った為、入館者が激減し、それに伴い貸出冊数等減少する結果となった。元々若年層の利用が少ないことから、SNS・広報を利用した情報発信に力を入れ、新規利用者のすそ野を広げる事業を実施し、継続していく。
- 4 各成果指標

① 施策1 情報資料を蓄積し、学びと課題解決を支援します

指標項目	現状値（2017年度）	2020年度末	目標値（2023年度）
蔵書数の充実	355,802 冊	362,410 冊	365,000 冊

② 施策2 誰もが読書に親しみ、楽しむ機会を提供します

指標項目	現状値（2017年度）	2020年度末	目標値（2023年度）
年間来館者数	314,238 人	212,412 人	338,000 人
市民一人当たりの貸出冊数	3.34 冊	2.72 冊	3.8 冊
学習室など利用者数	15,977 人	5,412 人	16,500 人
大活字本貸出冊数	2,495 冊	2,538 冊	3,100 冊
配本・ふれあいライブラリー一人当た	2.8 冊	2.8 冊	3.0 冊

りの貸出冊数			
図書館資料の満足度 ・利用者アンケート ・事業アンケート	(2019年度) 本館 64% 江島分館 80% 事業 85% (全事業平均)	本館 65% 江島分館 82% 事業 84%	両館 80%

③ 施策3 郷土の歴史や文化を大切にします

指標項目	現状値 (2017年度)	2020年度末	目標値 (2023年度)
郷土資料などを活用した取組又は支援・発信	5 件	4 件	10 件

④ 施策4 市民や関係団体と連携します

指標項目	現状値 (2017年度)	2020年度末	目標値 (2023年度)
図書館ボランティアの登数者数	115 人	133 人	150 人
市内教育機関との交流件数	1 回	0 回	5 回

⑤ 施策5 居心地の良い環境を提供します

指 標 項 目	現状値 (2017 年度)	2020 年度末	目標値 (2023 年度)
職員一人当たりの研 修 (危機対応訓練含 む) の参加回数	5.9 回	1 回	7 回

第2 鈴鹿市図書館サービス方針 各取組の状況

※ 凡例 ◎ 計画・検討

※ 進捗状況欄凡例：☆達成 ○予定どおり △遅れ ×未着手 ●その他

施策1 情報資料を蓄積し、学びと課題解決を支援します

多様化するニーズへの対応を図りながら、蔵書管理を行い、新たな発見、楽しみに
つながる学びを支援します。

施策の取組内容	年度別工程					最終結果
	2019	2020	2021	2022	2023	
1 基本収集方針に基づき、計画的な図書資料の収集を行い蔵書の確保と適正な管理を行います。	→					☆継続
2 除籍資料のリサイクルなど、図書資料の効率的な活用と円滑な利用の推進を図ります。	→					☆継続
3 行政資料のデータベース化をはじめ、電子書籍の活用などについてさらに情報収集し、検討を行います。	→					△
4 利用者に対し、課題解決の支援や情報提供が的確にできるよう、レファレンスサービスの充実を行います。	→					☆継続
5 利用者自らがスムーズに検索などができるよう、パスファインダーや、事例集を作成します。	→					△

計画期間を通じた評価

図書館資料については、適正に保存し計画的な蔵書の管理に努めました。

除籍資料については、リサイフル図書として、市の関連部署、団体及び市民に提供して、今後有効活用を図っていきます。

また、電子書籍の導入については、利用者の利便性や書架等のスペース不足の解消につながるため、導入による費用の課題や、近隣図書館の導入状況を勘案しながら、調査・研究していきます。

レファレンスサービスについては、利用者の方々からの問い合わせによる調査及び研究などに対して、解決に向けて役立てられるよう、図書資料の情報提供を行います。

パスファインダー、事例集については、需要の状況を見ながら、実施している図書館を参考に、テーマの洗い出し方、調べ方の手法・情報収集の手引き等の作成を行っていきます。

施策2 誰もが読書に親しみ、楽しむ機会を提供します

誰もが利用しやすい、学びや交流の場を提供します。

施策の取組内容	年度別工程					最終結果
	2019	2020	2021	2022	2023	
6 多様化する市民ニーズを把握するため、窓口や利用者アンケート、鈴鹿市立図書館協議会、ボランティア交流会など、様々な視点からの意見を収集します。						☆継続
7 乳幼児から高齢者のあらゆる年齢層へのサービスをはじめ、障がい者、外国人、さらには来館困難な方へのサービスなど、誰もが利用しやすいサービスの充実を図ります。						☆継続
8 図書資料への関心を促すため、テーマコーナーなどを充実させます。						☆継続
9 図書館ホームページやSNSなどを使用し、有効な情報発信を行います。						☆継続

10 市立公民館などにおける配本やふれあいライブラリーなどの地域サービスと江島分館における予約・リクエストサービスを充実させます。						☆継続
---	--	--	--	--	--	-----

計画期間を通じた評価

図書館サービスをより良くするために、利用者アンケート調査の意見や鈴鹿市立図書館協議会の外部評価の結果などを参考に、利用者へのサービス向上に努めるよう、更なる改善を図っていきます。

子育て支援、障がい者支援、高齢者支援など様々なコーナーを設置し、今後も積極的に情報提供に努めると共に、毎月テーマを設けて関連する本の展示を行い、読書の推進を行っていきます。

情報発信としては、コロナ禍において来館できない利用者に対して、デジタル紙芝居を作成、YouTube や Facebook で公開し、視聴してもらいました。今後は、これらのツールを積極的に活用し、より幅広い層に情報が届くようにしていきます。

ふれあいライブラリーについては、司書資格を有する職員が、利用者の図書資料の要望に的確に応えられるよう、また丁寧なレファレンスサービスを心掛けるよう努めていきます。

施策3 郷土の歴史や文化を大切にします

先人の残した郷土資料を通じて、地域の文化の継承や郷土愛が育まれるよう支援し、また、地域資源、地域の魅力を知る場を提供します。

施策の取組内容	年度別工程					最終結果
	2019	2020	2021	2022	2023	
11 郷土資料など、文化施設との連携を行います。						☆継続
12 所蔵の郷土資料を活用し郷土を発信します。						☆継続

計画期間を通じた評価

地域の文化事業などが実施される際には、関連機関との連携を取りながら、相互協力を行っていきます。

また、郷土に関する図書、資料等を活用し、郷土関連事業を実施しました。これからも、郷土に関する様々な企画を計画し、図書館に来館するきっかけづくりを行っていきます。

施策4 市民や関係団体と連携します

人と人との交流を生み出し、他者との連携や社会参画につなげます。

施策の取組内容	年度別工程					最終結果
	2019	2020	2021	2022	2023	
13 ボランティア団体などの活動を支援し、交流を図ります。	→					☆継続
14 図書館ボランティアの人材育成を図るため、ボランティア育成講座などの充実に努めます。	→					☆継続
15 市内小中学校、高等学校及び高等教育機関における学校図書館などとの連携を図ります。	→					△
16 相互貸借など、他の図書館との連携を図ります。	→					☆継続
17 市立公民館などの図書館充実に努め、地域の交流、生涯学習を支援します。	→					☆継続
18 中高生の職場体験や教職員の社会体験活動の受け入れを積極的に行います。	→					☆継続
19 自主財源の確保とスポンサーに地域貢献の機会を提供するための「雑誌スポンサー制度」を充実させます。	→					☆継続
<p>計画期間を通じた評価</p> <p>ボランティア団体との交流会を始め、ボランティア育成講座、おはなし会などについては、コロナ禍の状況により開催を行うことができませんでした。終息状況を見ながら開催実施に向けて計画を行っていくとともに、図書館ボランティアの支援と育成を行っていきます。</p> <p>学校関連資料の充実に支援や学校図書館との連携を行い、読書活動の推進に今後も取り組んでいきます。</p> <p>雑誌スポンサー制度のPRを行い、新たな図書資料の財源を確保し、図書館サービスの向上と地域経済の活性化を図っていきます。</p>						

施策5 居心地の良い環境を提供します

環境整備に努め、一人ひとりの大切な場を提供します

	年度別工程	最終
--	-------	----

施策の取組内容	2019	2020	2021	2022	2023	結果
20 施設の長寿命化を図り，利用者が使いやすい施設整備を計画的に行います。	→					☆継続
21 施設の多目的利用を図り，スペースの有効利用に努めます。	→					☆継続
22 専門研修の参加など，職員の資質向上（接遇能力，専門知識）を図ります。	→					☆継続
23 自然災害や火災のほか，盗難，迷惑行為など，危機管理に対応できるよう努めます。	→					☆継続
24 柔軟性や弾力性のある運営体制の構築のための調査，検討を行います。	→					☆継続
計画期間を通じた評価 利用者へのサービス向上に向けて，鈴鹿市公共建築物個別施設計画を基に，図書館施設の長寿命化計画の準備を行っていきます。 職員の資質向上を図るため，積極的に研修に参加する機会を設け，参加，実施に努めていきます。同時に，よりよい運営体制についても再考していきます。						